毎月11日は「人権を確かめあう日」県民のつどい

2015

第12回シンポジウム

インターネットをはじめ個別の人権侵害の今を斬る!!

～「同対審」答申50年の軌跡～

8月11日
「同対審」答申
50年

参加無料

とき 2015 8月11日(火) 13:00開会

ところ かしはら万葉ホール ロマントピアホール
奈良県橿原市小房町11-5　☎0744-29-1300

主催 奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会

共催 奈良県、奈良地方法務局（順不同）

お問い合わせ　奈良県市町村人権・同和問題啓発活動推進本部連絡協議会事務局　☎0744-22-9611

法務省委託事業

○開会行事

○基調講演　**「同対審」答申５０年、今問われていること**

奥田　均さん
(おくだ･ひとし)

近畿大学人権問題研究所教授。博士（社会学）。一般社団法人部落解放・人権研究所代表理事。社会福祉法人大阪市社会福祉協議会理事など。主な著書に、『見なされる差別－なぜ、部落を避けるのか』(2007 年)、『差別のカラクリ』(2009 年)、『「人権の世間」をつくる』(2013 年)、『「同対審」答申を読む』(2015 年)（いずれも解放出版社）などがある。現在、「差別禁止法」の制定に向けた活動に取り組んでいる。

○シンポジウム　**インターネットをはじめ個別の人権侵害の今を斬る**

～「同対審」答申　５０年の軌跡～

パネリスト　奥田　均さん
(おくだ･ひとし)

一般社団法人部落解放・人権研究所代表理事、近畿大学人権問題研究所教授

福岡ともみさん
（ふくおか･ともみ）

愛媛県の被差別部落に生まれ育つ。１９９９年、奈良県内で起きたＤＶ被害者が加害者となってしまった事件の裁判支援からＤＶ被害女性のサポートに関わる。現在、ＤＶ、性暴力被害当事者女性や家族へのアドヴォケイト（権利擁護・代弁）活動や、カウンセリング、大学等のハラスメント相談をおこなう。奈良県や奈良市のＤＶ基本計画策定委員などもつとめる。ウィメンズカウンセリング京都に所属。特定非営利活動法人なら人権情報センター理事。

廣岡幸夫さん
（ひろおか･ゆきお）

１９８４年奈良県職員に採用される。奈良県庁の児童福祉課、同和対策課、児童相談所などを経て、現在、児童自立支援施設（不良行為をなす児童や家庭環境その他の理由により生活指導を要する児童を入所させる施設）である県立精華学院の施設長。この間、県の海外派遣研修でヨーロッパ各国の人権への取組状況（アウシュビッツ博物館、アムネスティ、イギリスの自治体など）を視察。児童相談所では児童虐待対応に従事。

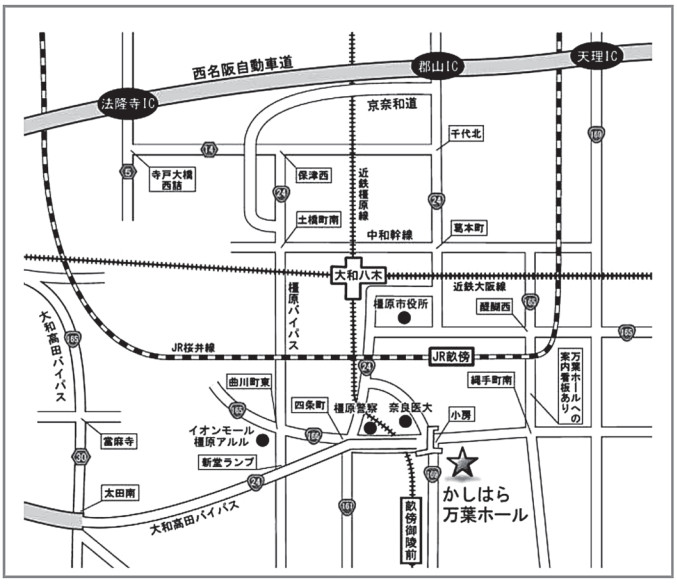
黒田恵裕さん
（くろだ･よしひろ）

奈良県立二階堂高校教員。専門は社会福祉・カウンセリング・陸上競技（長距離走）。特別支援教育コーディネーター、準デジタルアーキビスト。同和教育・人権教育に公私ともに長年関わり、２００９年度より奈良県外国人教育研究会事務局長を務める。「ネット上の人権文化創造」を掲げ、「２つのＪ（人権と情報）」を軸に情報発信・実践にも取り組んでいる。スマホ・ケータイと子どもたちの人権に関する講演も多く、この数年で２００回以上を重ねている。

コーディネーター　森田庄一さん
(もりた･しょういち)

１９７８年４月に香芝町役場に勤務し社会教育を担当する。１９８４年５月に北葛城郡同和教育推進協議会を結成し初代事務局長に就任する。１９８５年２月から始まった広域同和教育推進懇談会に参加し同和問題啓発活動推進本部の結成に取り組む。人権教育課長、人権・共同参画課長、財政課長、教育部次長、市民経済部長、危機管理監兼市民環境部長を歴任し、現在は香芝市議会事務局長。

○閉会行事

ご参加
おまちしております！

電車：近鉄橿原線「畝傍御陵前」駅下車　約１㎞
バス：近鉄橿原線「大和八木」駅または「橿原神宮前」駅東出口から、奈良交通バス利用「小房」バス停下車すぐ。近鉄橿原線「大和八木」駅からコミュニティーバス利用「かしはら万葉ホール」バス停下車すぐ
●公共交通機関をご利用ください